工芸室の窓から　NO.19　2007.10.29

小海高等学校生活指導係発行

生活習慣と学力の関係

ー小・中学校における全国学力調査よりー

10月25日の新聞に、小学6年生と中学3年生全員を対象として、43年ぶりに実施された全国学力テストの結果が掲載されました。
その記事の中で、高校生にもあてはまる部分を抜き出してみました。

正答率
生活習慣と相関

朝食を毎日食べる小中学生の正答率はともに八〇％超。
<中略> 学校の規則を守る意識が強いほど高い正答率だった。
規範意識が正答率に相関していると分析した。

「朝食を毎日食べる」「登校前の持ち物確認」「親とのコミュニケーション」は基本的な生活習慣に含まれる内容であり、「学校の規則を守る」は規範意識に含まれる内容です。

Why？　生活習慣や規範意識はどうして学力と関係するのでしょうか？

Answer　朝食がきちんととれる
　1時間目から脳が活動 → 授業に集中 → 根気や意欲が出る
　→ 得点上昇 → 評価が上がる

持ち物確認ができる
　教材がそろっている → 提出物を忘れない → 評価上昇

学校の規則を守る
　生活が安定する → 授業中心の生活 → 結果が出る
　→ 意欲が出る → さらに良い結果が出る

皆さんの周囲を見回してみてください。成績で結果を出している人にはほとんど当てはまる内容になっているのではないでしょうか。
また、逆に成績が伸び悩んでいる人の多くは「朝食を食べていない」「忘れ物や提出物の未提出が多い」「学校の規則を守れない」生活をしているのではないでしょうか？